

科学ヘジャンプ・イン・岡崎 2018 報告書

— Jump to Science in Okazaki 2018 Report —

概要 日程:平成 30 年 11 月 17 日(土) 09:30～15:30 会場:愛知県立岡崎盲学校 対象:視覚障害のある小学校 3 年生以上の小中高生で、科学に興味を持ち、当日のイベントに参加可能な児童・生徒 参加者:28 名 保護者・付添い者:24 名 外部講師:13 名 見学者:5 名 スタッフ:87 名 主催:科学ヘジャンプ・イン・岡崎実行委員会 後援:中部地区盲学校長会	プログラム 09:30～10:00 受付 10:00～10:20 開会の集い 10:30～12:00 ワークショップ I 12:00～12:50 昼食 12:50～13:20 参加児童生徒の交流会 13:30～15:00 ワークショップ II 15:10～15:30 閉会の集い 保護者向け企画 12:50～14:20 座談会 他の時間は、ワークショップ自由見学
---	---

8つのワークショップがあり、児童生徒は午前と午後でひとり2種類のワークショップを体験できました。保護者企画では、午後に、それ以外の時間帯は各ワークショップを見学していただきました。



味覚や温度の感じ方を体験しよう
講師:富永真琴(生理学研究所)



積み木で計算しよう、しきつめて大きさを感じよう
講師:内田智也(筑波大)



粉の不思議
講師:岡崎高校サイエンス部



八丁味噌の謎を追え
講師:岩附充伯(岡崎盲)



ねばねばのひ・み・つ
講師:伊藤百合子(岡崎盲)



月ってどんな形?
講師:竹原かな(愛教大4年)



保護者向け企画の座談会

参加した児童生徒の感想、次回やってみたいことなど

- 粉っていろいろな種類があるんだなと思った。
- 今回参加してみて、実際に体験することで想像しやすかったです。またこのようなイベントがあれば、参加したいです。
- 新しい友達ができて楽しかった。
- 触ったり、触れたりする実験をやりたい。
- 図工をしてみたいです。

参加した保護者の感想

- 様々な教材を手でさわって確認することで、発見があったり、体験することで、とてもいきいきと活動することができていてとても良かったと思いました。
- 親切な対応でとてもうれしく思いました。また、保護者向けの意見交換会は良い話が聞けて、また聞きたいなと思いました。
- 本人はもちろんのこと大人も楽しめ、なるほどと思う楽しいワークショップでした。本人に体験して楽しんでもらう目的だったと思いますが、大人まで楽しむことができとても良かったです。
- 初めて参加して、内容もわかりやすく、子どもとっても楽しそうでどんどん機会を増やしてほしいと思います。
- 「ねばねばのひみつ」ではねばねばの変化が想像できない状態だったので、おどろきでした。臭いのくささにも笑いごとありませんでした。見ていても楽しい実験でした。
- 味覚の実験も分かりやすかったです。自分の知っている味の変化も楽しかったそうです。